

# モデルコース⑦

# 古市古墳群を歩く 一日コース


土師ノ里駅—土師ノ里駅 (約7km)

藤井寺市観光ボランティアの会

「土師ノ里駅」をスタート。古市古墳群造営の最盛期の古墳 19 基を巡ります。平坦なコースで、古室山古墳は眺望も良く、誉田八幡宮ではゆっくりと参拝できます。ゴールは「土師ノ里駅」です。

★ 世界文化遺産登録構成資産 © コンビニ ⑤ フードショップ



記号★：世界文化遺産登録構成資産（2019. 7）、 距離：スタートからの延距離（施設内を除く）、 ：トイレ

①	<b>土師ノ里駅</b>  近鉄南大阪線	近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」との間準急で16分。「橿原神宮前駅」との間は時間帯、乗り換えによって異なりますが29分～41分。
② 0.5km	<b>允恭天皇陵古墳</b> ★ いんぎょうてんのうりょうこふん 前方後円墳 墳丘長230m	 国府台地の北端に立地し、5世紀中頃に築造された三段築成の古墳で、整美な外観は古墳時代中期の代表的な墳形といわれています。地元では「綿山」とも呼ばれ、江戸時代までは綿作が行われていました。後円部の外周は旧長尾街道（大津道）です。
③ 1.2km	<b>衣縫塚古墳</b> いぬいづかこふん 円墳 径20m	 発掘調査では、周濠から円筒埴輪や家形、人物、太刀などの埴輪が出土しました。5世紀後半に築造されたと考えられ、西側の允恭天皇陵古墳の陪塚であるとされています。児童公園に隣接した小さな古墳です。
④ 1.4km	<b>宮の南塚古墳</b> みやのみなみづかこふん 円墳 径40m	 発掘調査で円筒埴輪と衣蓋形埴輪が出土しました。5世紀後半に築造されたと考えられ、西側の允恭天皇陵古墳の陪塚であるとされています。国府八幡神社の南側に隣接しています。
⑤ 1.8km	<b>唐櫃山古墳</b> からとやまこふん 帆立貝形墳 墳丘長59m	 道路工事等で墳丘の一部が消失しましたが残った墳丘の後円部に竪穴式石槨があり、阿蘇凝灰岩製の刳抜式家形石槨が納められていました。石槨からは鉄製の武器・武具、馬具などが出土しています。
⑥ 2.0km	<b>鍋塚古墳</b> ★ なべづかこふん 方墳 一辺63m	 近鉄土師ノ里駅の前にある「鍋を逆さにした」ような形の古墳です。4世紀後半の築造で、現状では40mの方墳ですが周辺の調査で一辺63mの大きさであることがわかっています。周辺には中小規模の古墳が多数ありました。
⑦ 2.5km	<b>仲姫命陵古墳</b> ★ なかつひめのみことりょうこふん 前方後円墳 墳丘長290m	 4世紀後半築造の巨大前方後円墳です。古市古墳群では二番目の大きさで、周濠は幅が狭く深い空堀です。くびれ部には四角い台形状の造り出しがあり、築造当時の姿を残しています。堤を歩くと濠や墳丘の様子、堤の広さが実感できます。
⑧ 2.7km	<b>松川塚古墳</b> まつかわづかこふん 方墳 一辺25m	 近鉄南大阪線の線路沿いにある小さな古墳です。墳丘には葺石が確認でき、出土した円筒埴輪から築造時期は5世紀中頃と考えられています。
⑨ 3.1km	<b>古室山古墳</b> ★ こむろやまこふん 前方後円墳 墳丘長150m	 古市古墳群形成期の4世紀後半に築造され、古市古墳群のなかでは、皇陵関係以外としては最大級の大きさで、墳頂に登ることができます。生駒、葛城山系、大阪阿部野あたりまで眺望でき、季節によって梅や桜が楽しめ、市民の憩いの場となっています。

<p>⑩</p> <p>3. 2km</p>	<p><b>赤面山古墳</b> せきめんやまこふん</p> <p>方墳 一辺22m</p>		<p>西名阪自動車道の高架下にポツンと佇んでいる小さな古墳です。古墳を保存するため、昭和 40 年代の自動車道路建設の際に特別な工事が行われました。どのような工夫がされたのでしょうか。</p>
<p>⑪</p> <p>3. 3km</p>	<p><b>大鳥塚古墳 ★</b> おおとりづかこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 110m</p>		<p>一重の濠を有し、前方部は 2 段、後円部は 3 段に築成されています。後円部が前方部より 6m も高く、墳丘に登ってみると、高低差を実感することができます。5 世紀前半の特徴的な前方後円墳の姿がよくわかる古墳です。</p>
<p>⑫</p> <p>3. 5km</p>	<p><b>誉田丸山古墳 ★</b> こんだまるやまこふん</p> <p>円墳 径 50m</p>		<p>応神天皇陵古墳の北側にあり、江戸時代、副葬品と伝わる「金銅製龍文透彫鞍金具」が出土しました。我が国最古のもので、国宝に指定され、誉田八幡宮に所蔵されています。</p>
<p>⑬</p> <p>3. 5km</p>	<p><b>応神天皇陵古墳 ★</b> おうじんてんのうりょうこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 425m</p>		<p>墳丘長は仁徳天皇陵古墳に次いで日本第 2 位、体積は日本第 1 位の規模。前方部の北西側が崩落している以外は築造当時の姿がよく保たれています。5 世紀前半の築造で、西側外堤を歩くとその大きさを体感することができます。</p>
<p>⑭</p> <p>4. 4km</p>	<p><b>東山古墳 ★</b> ひがしやまこふん</p> <p>方墳 一辺57m</p>		<p>最近行われた調査では、墳丘は 2 段築成で、上段と下段にある平らなテラス面からは隙間なく一列に並べられた円筒埴輪が出土しています。5 世紀前半の築造だと考えられています。</p>
<p>⑮</p> <p>5. 1km</p>	<p><b>誉田八幡宮</b> こんだはちまんぐう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国宝、重文</li> <li>・ 宝物館開館日：毎週土曜日 13 時～16 時</li> </ul> 		<p>6 世紀末、欽明天皇の勅命で応神天皇陵の前に社殿を建立し、八幡大菩薩を勧請したのが始まりと伝わっています。鎌倉時代以降には将軍家や武士の信仰を集め、源頼朝寄進の「塵地螺鈿金銅装神輿」は国宝。丸山古墳出土の国宝「金銅製龍文透彫鞍金具」も所蔵されています。</p>
<p>⑯</p> <p>5. 7km</p>	<p><b>栗塚古墳 ★</b> くりづかこふん</p> <p>方墳 一辺 43m</p>		<p>応神天皇陵の東側の住宅街のなかにあり、東高野街道から見るすることができます。出土した埴輪は人物、家、動物など多様で珍しいものが多く、応神天皇陵古墳との係わりがある古墳だと考えられています。</p>
<p>⑰</p> <p>5. 8km</p>	<p><b>東馬塚古墳 ★</b> ひがしうまづかこふん</p> <p>方墳 一辺 30m</p>		<p>調査は行われておらず詳細は不明です。周辺部の発掘調査では円筒埴輪列が確認されています。茶山グランドの片隅にあるので見逃してしまいそうです。</p>

<p>⑱</p> <p>5.8km</p>	<p><b>二ツ塚古墳 ★</b> ふたつづかこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 110m</p>		<p>古市古墳群では初期に造られた古墳で、応神天皇陵古墳は、この古墳を避けるようにして西に寄せて築造されたと考えられています。茶山グラウンドから見ると応神天皇陵古墳と一体になっている様子がわかります。謎の多い古墳です。</p>
<p>⑲</p> <p>⑳</p> <p>㉑</p> <p>6.5km</p>	<p><b>三ツ塚古墳</b> みつづかこふん</p> <p>西から(写真の上から)</p> <p>助太山古墳 ★ 方墳 36m すけたやまこふん</p> <p>中山塚古墳 ★ 方墳 50m なかやまづかこふん</p> <p>八島塚古墳 ★ 方墳 50m やしまづかこふん</p> <p>(長さは一辺)</p>	  	<p>仲姫命陵古墳の南側にあり、東西に並んだ3基の方墳の総称です。3基は周濠を共有して、南辺を揃えるめずらしい形をしています。八島塚と中山塚の間の濠底部から昭和53年(1978)大小の修羅と呼ばれる木ぞりが出土し、大きな話題になりました。</p>
<p>①</p> <p>7.1km</p>	<p><b>土師ノ里駅</b> </p> <p>近鉄南大阪線</p>	<p>近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」との間準急で16分。「橿原神宮前駅」との間は時間帯、乗り換えによって異なりますが29分～41分。</p>	